JAC創立１００周年記念国内登山(中央分水嶺踏査)の山行報告書

(1)～(8)は必ず記入してください。(9)～(11)は、気づいた事項があれば記入してください。

(1) 担当支部:	北海道支部	(2)記載者氏名:	助田　陽一	会員番号:	12995	事務局整理記入欄			北海道－116
分水嶺区分:	H107上トマム～採草地端(H106方向)			(3)山行日:	2005年	2月	27日	(4)天候	晴れ

(5) 参加者氏名および会員番号

				サポート要員氏名および会員番号			
助田　陽一	12995						
助田　梨枝子	12996						
		計	2名			計	名

(6) 山行記録・位置確認（出発点・ピーク・峠・到達点など、主要ポイントに関して）・所要時間・道の状況

ｺｰｽ概略:	上トマム道々R136～集落林道トマム団体線～co657～上トマム道々R136													
ｱﾌﾟﾛｰﾁ:	芽室町～狩勝峠～占冠村、南富良野町界													
地点ｺｰﾄﾞ	地点名	2.5万分の1地形図名	経度E			緯度N			高度m	到着時刻	出発時刻	道の状況	(8)～(11)の特記事項等との関係	
			度	分	秒	度	分	秒						
歩行開始点														
分水嶺到達点H107	ﾄﾏﾑ団体線集落林道	上トマム	142	39	58.0	43	2	54.7	571		11:10	B-4		
	P600	上トマム	142	40	26.7	43	2	36.0	604	11:40	11:45	B-4		
2/20分水嶺離別点	採草地端	上トマム	142	40	41.7	43	2	20.7	658	12:05	12:20	B-4	(8)	
分水嶺離別点	採草地端													
歩行終了点	道々R136									12:40				
												総歩行時間（休憩時間を除く）:		50分
												分水嶺距離		1.4km

(7) 三角点の位置と保存状況

上記(6)の地点ｺｰﾄﾞを記入してください	点名	等級	方位	保存状況	特記事項

(8) 人工施設の現況および地形図との相違点

(9) 水および植生に関連した特記事項

林道両側は、カラ松、白樺の木、1kmほど進んだ処から針葉樹と広葉樹の疎林

(10) その他の特記事項

北の方界に十勝連峰が見え十勝岳の噴煙を確認できた。
2005年2月20日の離別点に到達することができ、前回のスキーのトレースがわずかに残っていた。
野ウサギ、狐の足跡があった。

(11) 写真の添付:（有りの場合には、写真説明を記入してください）

写真説明: